

チャプター―「相対」

いまだき道場破りなんて珍しいな。

腕試しか？それとも名前を売るためか？

何のためにしているのかは知らないが、この道場に目をつけるとは無謀という蛮勇というか…。

ふふん、ここいらで有名な道場だとは知らなかったのか？

オレの道場に乗りに込んできたのが運のつきだ。身の程つてもんを教えてやるよ。

…あいにく門下生は出払っているところだな。お前をあつという間にぶっ倒すオレの雄姿を門下生たちに見せたかったところだが、いないもんは仕方ない。

他に誰もいなかったのがお前にとっては不幸中の幸いつてやつか。

オレに負けて赤っ恥をかいているところを他の奴に見られずに済むんだからな。情けをかけて門下生が帰ってこないうちに終わらせてやるよ。さあさあさあ、さっさと済ませうじゃないか！

…う、ううう、こんなはずじゃなかったのに。

まさかこんなに強い奴だなんて…。

オレが力づくで押さえ込まれるなんて、嘘だろ…ありえない…うう…。

…くつ、約束は約束だ。

オレの負けだと認めてやる、看板は持つていけ！

…代々受け継いできたこの道場もこれで終わりか。

いや、オレが不甲斐ないばかりに潰してしまったんだ。

こんな突然やってきた道場破りに負けるなんて…もつとしっかりと鍛練を積んでいた…。

うう、オレが、もつと鍛えていなかったのがいけないんだ。

…何を見ている。

用はもう済んだだろう、さっさと出て行け！

なに？ 看板を返してやってもいいだろ？ オレを侮辱しているのか！

そ、そんな同情されることをオレが望んでいるとでも…！

…うう、いやいや…少し待ってくれ、いまのはなしだ。…か、返してくれ。

…その看板は、この道場はオレにとって生まれ育った家でもある、大切な場所なんだ。

お前が強かったことは認めるから、看板を…返してくれ。

なに！？

お前を満足させたら返してくれるのか！？

ま、満足とは何のことだ？

腹か？ 飯を奢ればいいのか？

違うのか…？ じゃあ一体、なに？ せつ、性欲を満足させろと言うのか！

性欲ということはつまりチン…………、そ、そんなことをオレがするとでも…！

……いや、しかし、看板が……、でも…、そんなことは…、だけど……、うううう……

わ、わかった。

する……。

か、看板を返してくれるなら……お、お、おお、オレが、お前の性欲を解消してやる。
オレの身体を使つて、お前が満足するまで悦ばしてやるう…。

……まずはなにをして欲しいんだ。

うつ、そんなガラガラした目でオレを見るな。

戦っていたときより血走つてるじゃないか。まるで…獣だぞ。…オレは獲物じゃないんだ、落ちていてくれ。

それで、オレは何をすれば……、うう……わ、わかった。まずはキスをすればいいんだな。

くそつ、負かされた相手にキスをするだなんて、まるで勝利者を祝福してるみたいじゃないか。

し、しないとは言っていないだろ、するよ！ ……そ、その代わり……約束は、守れよ。

……いいか、するぞ。

んう、ちゅ、つちゅ、ちゅう、んちゅ。

ど、どうだ？ オレの、キスは？

なに、もっと濃厚にしろだと！

くうう…つこうなつたら、ええい！

んちゅう…、んべろ、じゅるるる…、んちゅうちゅう…、んちゅうううう。

ぢゅう…、ぢゅるる…、んっう…ちゅう…、んはあふう…、んちゅうぢゅるる…、じゅ

るっ、じゅるるるう。

ちゅう、ぢゅる、うん、つはあ。

どうだあ！ オレだって男とキスをしたことはあるんだ。これなら満足しただろ！

チャプター②「弄ばれる道場師範」

な、なんだ。いきなり服を脱ぎだしたりして。

オレとベロチューしてそんなに興奮したのか？

うう……オレにも脱げというのか。……本当に、脱がなきゃならないのか？

……こんな……男の前で道着を脱ぐだなんて。

……おい、やめろ、そんなに脱ぐところをじろじろと見るんじゃない！

お前には情けつてもんがないのか！ そんな……身体ばかりを見るな！

きよ、巨乳だなんて言われてオレが喜ぶとも思ってるのか！？

どれだけ身体を鍛えても胸はバカでかく育っていくし、腰回りだって……腹筋を鍛えてウエストを絞っても、尻はがっちりしてるようでどっしりもしちまつてるんだ！

このでかい胸のせいでどれだけ苦労してきたと……そうだ、お前に負けたのもこの胸のせいだ！

もつと胸が小さければ、お前より先に拳を打ち込むことができたはずだ！

うぬぬう、くそつ、自分の胸のでかさが恨めしい……

あ、いきなり胸を鷲掴むなんて……

うるさいだと！

黙って体を差し出せだなんてデリカシーのない……う、くつ、……ん、せめて……んんつ、……んは、……んつ、優しく……んう……、はあ……、んんつ……、んふうつ……、う……、んう……。

こ、この胸もお前を悦ばせるために使わなきゃならないのか。

……んあつ、……んくつ、んつ、……ふつ。

か、覚悟はしていたさ。でも……つ、そんなにぐにぐにと、胸をもてあそびやがって、この変態野郎。

んつ、……んう、しつとりとした触り心地がいいだなんて教えなくていい、黙って勝手に一人で揉んでろ！

あうつ……か、感じてなんているはずないだろうつ、さっきの戦いの熱が残ってるだけだ！

う、あ、ここで看板の話を持ち出すなんて卑怯だぞお。

……うう、わ、わかったよ。

『お、オレのデカパイの具合はどうですか？ もし良かったら、ううう……ち、乳首も、勃起してるエロ乳首も、こりこりぐりぐり虐めて下さいい』

んんつ！ や、やめつ、あふつ、……んうつ、ひう！

ち、乳首ばかりそんな風に……。ち、違う、胸もして欲しいって意味じゃ、んひいつ。

馬鹿野郎っ、女の身体はそんな風に……。……あひ、……。ふう、……んう、……。あはあ、……ん

あああ。

…ふうん、…んふう、…んはああ、……んんうつ、…んう、…んああ。
……んふう、…はあ、…んう、……ふうん、…んんう、……んはあ、…ああああ。

…はあ、んあ…う、どうした？ いきなり手を止めて……そ、そんな腰をぐいぐいと押し付けてくるな。

…お、お前のが、当たってきているぞ。…硬いのが。

もしかして……これに口を使えっていうのか。

…し…知ってはいるが……恋人でもない男にそんなことまでするなんて、屈辱だ…！
な、なんだ、オレに恋人がいたことがあったら悪いのか？

いや、今はいないが……い、いたことはあるぞ！ 何人も！ 何人もだ！

…いつも恋愛が長続きしなくて悪かったな！ 道場破りのお前に心配されることじゃない！

う、なんだよ…気を悪くでもしたのか、こ、こんなバカでかいモノを突き出しやがって。

こんな、でかくなるなんて、どれだけ発情してやがるんだ。

……む、はあ、しかも、汗のにおいと重なって、すっごいくさい…。

ああ、でも久々のオスの香り…。

それに、ガッチガチに勃ってやがる。

こんなぶつといの……、木の幹みたいにゴツゴツしやがって……はあ、ん。

これといままでの彼氏のとを比べ…な、なにを言ってるんだ！ 比べられるかそんなもん！

こんなでかいもんぶら下げやがって…、うう、いままで見えたのとどっちが大きいかなんて知るかよ……。

これを、…オレが、口で気持ちよくすればいいんだろ、黙って突き出してやがれ。
さっさとしてやるから、お前は大人しく突っ立ってればいいんだよ。

ほら、んあつ、ん…ん……んっ……んぷつ。

ん…、んふ……、んう……、じゅう……、んう……、ん……、んう……、んあ……。

こんなにおっ勃てて……んぶつ…ん、ん……んっ……んんうつ。

これでいつも、女をいたぶってやがんのか…ん……んう……んぶう…。

んあ…、ん……、んう……、んじゅう……、ちゅ……、ん…、んう…、ん……、んじゅ…。

んちゅう、ん……ん…ん、んれろ…ん……んっ……んんう……。

く、啞えてる顔が淫乱だなんて、オレは、い、淫乱な顔なんかしてねーよ！ 変な事を言うな、ったく。

ん、んれろ…なんだよ、オレの態度なんてどうでもいいだろ！ こんなもん、早く終わ

らせてやる！

んっ…、んっ…、んっ…、んぢゆるぢゆるる。

れる…、んはあ、んんっ…、んはあ…、んちゅう…、んれる…、ん、んちゅ…。

んぢゆる…、ん…、んっ…、んんう…、んふう、んあ…、んうつ…、んはあ…。

こうして…ちゃんと口でしてやつてるだろう。

ん、んんう…、んぢゆる、ん…、んれる…、んふう…、ん、んんっ…、んはああ。

んう…、んぢゅ、れる…、んっ、んっ…、んはあ…、んふう…、んれる、れる…、んじゆる。

んあ、んふう…、んれる、んう、じゆる…、んふう…、んじゆるる、んっ…、んれる…、んじゆるる、んんう。

んふう、んぢゅ…、んっぷ、んふ…、ん、んんう、んっんっ…、んれる、んはあ…、んふう…、んぢゆるるう、んぷはああ。

…なんでいけないんだ、これじゃ満足できないっていうのか。くそっ。

く、口で啜えるだけじゃ物足りないだっつ。もっと気分を盛り上げさせろっつて、どうしたら…えっ？ そ、そんな…オレにそんなことを言わせるのか…ッ。

…：うううう、『こ、こ、おあ、これからオレのロマンコで、お前の立派な巨根を精一杯おしやぶりご奉仕させて頂きます』

『経験不足のド下手なオレですが…：この雄々しくそそり立った、あああ、デカチンポが気持ち良くなっていただけるよう、アホ顔晒してじゅっぽじゅっぽしごきますので、どうかこのエロ口な精液便所にあなた様の濃厚子種汁をぶっかけて下さいい』

…ああ、こんな…：こんなことを言われるなんて…。

い、いやらしい女だなんて、お前が変態な言葉を言わせてるんだろうがっ！

う、うあ…。やあ、んんう、やあ…、やめろ…、乳首をつねるんじやない。

んふう、はあ…んひい、んんう…んやあ…。

…わかったあ、口でするから…、もっとするから乳首舐めるのやめろお…。

んんう…、んっぷ、んんっ…、んぶう…、んう…、んう、んじゆるう…。

んじゆるる、んじゅう…、ん、ちゅぽ…、んえろ…、んじゆるるるる。

んれろれる、んじゆる…、ぢゅっぽ、んじゆる…、んっんっ、んじゆるじゆる…。

れろれろれる…、んはあ、んんうつ…、んっぷ…、んじゆるるる…、んじゅっぽじゅっぽ。

んふう、じゆるる…、ぢゅぽちゅぽぢゅぽ、じゆるるう…、んぷはあ、んんう、んっんっんっ、…んふう。

んんんっ、んふう…、えろん、んちゅぽ、じゆる…、んじゅう、んじゆる…、えはあ、じゆるる、んふう…、んじゅぽ。

んじゅう…、んんっ、んふう、んじゆるる…、じゆるる、んじゆるう、んれろ…、じゆるるる、んぶっ、んじゅぼ。

んはあ、はあ、はあ、…なんだよ、オレの頭に手なんか添えて…はあ、はあ…。

頭でも撫でて慰めるつもりか？ そんなことしないでいいから、黙ってオレがしてるのを見てればいいんだよ。

さっさとイってくれればオレだって、んぶっ！？

んっ、んが、んぶう、あぐっ、んじゅう、んぬぶっ、んんっ、んんうっ、んぶっ、んぶはっ。

はあはあはあ、はあはあ、はあ…、はあ…。なん、なんのつもりだ…、いきなり、喉奥まで突きやがって！

お前のはただでさえ、でっ、でかくて…別に彼氏のより大きいなんて言っていないだろ！勘違いしてんじゃ…、やめろ！ そんなバカ力で頭を掴むな、このやろっ。

あぐっ、んぐっ、うんぐっ、ぐふう、んが、じゅちゅっ、ずぶちゅ。

んぐっ、んぶう、うんぐ、んふう、んぐ、んぶは、んじゅ、んぶう。

んぐう、ずちゅ、んちゅう、ぢゆるう、んぐ、んぎっ、ぢゆるん。

んがはあ、…こ、こんな風に、…はあ、はあ、無理やり、…女の口に太いもん突っ込んで、満足かよ……。

女がこんなんで、悦ぶはずないだろうが…。ガッチガチに勃起したもんで、口ん中を蹂躪されて感じるだなんて…、真正正銘の変態…あひいっ！な、なんだ、いきなり足でオレの股間を触るな！ て、なんだ今のオレの声は。

あんな声を出したことなんてないのに、え？ 自分の股を見てみろだと？

…な、なんだよこれ、なんでこんなに濡れてるんだよ！

こんな、太ももまで垂れるほど濡れてるなんて…、そんな……。

違う…、オレはマゾなんかじゃ…：…こんなの汗に決まってる…：あああ、でもぬるぬるいやらしくてかってるよお…：嘘だ…：オレがこんなに濡らすはずが…：やめろ、その汚らしいものをオレに近づけるなあ！

んぐっんっ、んっ、んぶっ、んんっ、んふううっ、んじゆるうっ。

んぶう、ぢゆるっ、んぐう、ぶじゆるるっ、あぐう、んぐぐ、ぐぶっ。

あじゅう、んぐ、ぶふっ、んぐう、ううっ、んぶう、んじゅぶ、んふう。

んぶう、んごっ、んぐっ、んんんっ、んぶっ、んぐっ、んごお、んぐぐっ。

んが、んじゅう、んぶふっ、んぶう、ぢゆる、んぶう、んじゆる、んんうっ、んぶっ。

あぐ、んぶふう、あんぐ、んがう、んぐう、じゅぶふう、んぐぐ、んじゆるる、んぶぐうっ。

ぐがあっ、んぐっ、んが、ぐぶちゅ、んちゅう、んぶふう、んぐ、んっんっんっ、んふうううっ。

んんっ、んぶうっ、んぐううっ、んぶうううっ、ん、んんっん、んぶうううっ！

…んっく…ごく、ごく…、ごく…ごくん……んぶっ、…んぶ、んんっ、んぐう、ぶはっ。
んばはぁ、…ごほっ、…んごほっ、うげえっ。なんなんだよ、これえ。

どばどばこんなに出しやがってえ。

顔にまでぶっかけやがって、頭おかしいんじゃないのか。

ん、…んぁぁ、…凄い、匂い、だ……。鼻にツンとくる…、イカ臭いセックスの匂い…。
道着や汗のにおいと合わさって、頭がおかしくなりそう……。

こんな濃いのは、か、嗅いだことないかも……。

チャプター③「彼氏以外を受け入れる道場師範」

あ、うあつ。

な、なんだよ、いきなり押し倒しやがって。

…あれだけ出したんだから、お前ももう満足しただろ？

…うつ、な、なんだよ、でっかくなったモノをなんでまだぶら下げてるんだよ！

ぜ、絶倫？　こういうのが絶倫っていうのか！？

あ、あ、あああ…、何回射精しても尽きない、精力に溢れた男もいるって聞いたことはあったが…、生まれて初めて見る絶倫のモノが、こんなにもでっかいので…、しかも彼氏でもない…、ゲス野郎のなんだって…。

うあああ、す、するのか？

ああ、見える。

正面から押さえこまれたオレの足の間からお前のが、ギンギンに立ったお前のモノがあ…、うう、でかすぎるうう。

く、くそつ。

さつさと突っ込め。

どうせこの道場のためには我慢するしかないんだ。

それにオレがお前のモノで感じたりなどするものか。猿みたいに腰振って、一人で勝手に終わらせやがれ！

何でもお前の思う通りにな、ん、か、あ、あああああ…！

…んふうつ、んはあ…、んふう…、んんう、んはあ…。

は、はあ、はあ…、で、でかいモノはいいかって…、そんなことあるわけないだろう。こんなもん痛い、ただだつ、…大人しくしててやるから、早く終わらせろよ。

ん……、ん……、ん…、んっ…、んはあ……、んぐっ…、ん……、ん…。

んふっ……、んっ…、ん…、んはあ……、んんう……、んっ…、ん……、ん…。

んあ……、ん…、ん……、んっ…、んはあ……、んあ……、やつ……、ん……、んん…、んふっ……、ん…。

…なんだよ、オレの顔を見つめて…。

なっ、ぬるぬるで気持ちいいなんて言うなあ！　オレはそんな、んう…、そんないや…いやらしい女じゃない！

鍛えた身体がきつくて気持ちいいって…、彼氏だつて言ってくれてたんだ！

…分も持たないってすぐイってたんだからなあ！

んあつ…、んふつ…、んんうつ…、んふう…、んはあ…、ふう、んはあん…。

んふうつ…、んああ…、ん、ん…、んんつ…、んうつ。

ん…！ んふう…、んあ…、ん、んんつ…、んあ…、んつ…、んうつ…、んんうつ…。

んふうん…、んあ…、んふうう…、んつ…、んう…、やあ…、んはあ…、んんつ…、んつ、んつ。

んう…、んうん…、んあ…、んふう…、んう、んつ…、んつ…、んふう…、んう…、んつんつ…。

んう…、んんう…、んん…、んあ…、んんつ…、んつ…、んつ…、んうつ、んふつ…、んんうつ…。

んああ…、はあつ…、はあ…、はあ…、なあ…、お前がすぐにいかないってことは…、わかつたから…、はあ、はあ、せめてこの肩を掴んでる手を離してくれよ…。

ん、こんな風に押さえつけなくても、大人しくしてるだろ？ お前が満足するまでじつと我慢してるからさあ…。

んなつ、手を離せてオレは言ったんだよ！ なんで逆に力を入れやがるんだ！？

んんつ、ああつ…、あふううつ、や、やめつ、んぐつ…、んふつ、んつ、んはあつ。

んやあ、ああ…、こんながつちり肩を掴まれて…、床に押さえつけられてされたら…、んふうつ、まるでレイプじゃないかあ。

あ、あ、んううう、んひい、こ、こんな風につ、無理やりされて…、気持ちいいわけないだろお、んああつ。

あう、んああつ、んひいつ、んやあ…、ああ、あひいつ、んんうつ、あああつ。

この変態つ、変態野郎つ、ああ、あ、んあ、んんんつ、んああ。

んあつ、ああ、んんうつ…、んう、んはああ、んふう、んううん…、んんつ、んふう。
んんう、んつ、あふう、んふうん、…んぐつ、ふうつ、んはあつ、ああん、んふうつ。
んひい、んああん、んふうつ、んんつ、んうう、んはあ、ああつ、んああ、んんうつ、んはあつ。

ああ、胸が、こんなに、揺れてるう。んうう、んやああ。

あ、あう、そ、そうだ。『オレのデカパイが、エロ乳首が勃起しっぱなしのデカパイがブルブル動きに合わせて激しく揺れてますう。押さえつけられた身体に、お前のこ、腰を叩きつけられるたびにつ、んううん、エロ乳揺らして喜んでますう』

ああ、いやらしいいい！ オレ、変態野郎に入れられながら、こんな、屈辱的な事言わされてるう！

あつ、んつ、んあつ、あうう、んあつ、んはあつ、ん、あ、あ、んあつ。

んぐつ、あ、う、んああつ、んんつ、んつ、んあつ、あつ、あつ、んひつ。

んあつ、あうつ、あつ、んふつ、ふつ、うつ、んつ、ああつ、んああつ、んはあつ、んんつ、んああつ。

あふうつ、ああつ、あ、あ、腰つ、早いっ、あ、あつ、あ、ま、まさかつ、お前つ。
あ、ダメ、あん、んんう、んふうつ、お前つ、あ、ダメだ！ 出すな出すな出すな！
んんつ、んぐつ、ああ、やめろお！ んあ、ん、あ、あ、あ、あ、やめ、やめてくれえ！
んがあつ、あああ、んあああああ！
嫌だ嫌だ！ うあああああああああ！

あ…、あ…、ああ…、あ…、うあ…、あ…、あ…、あう…あ…。

…あ、う…、うそ…、うう…こ、こんな、こんなあ…。

あああ…、奥にいいっぱいいい…。こんな、クズ野郎のがあ…。

うぐつ…、う、うう…で、でもこれで…、看板が、道場が守れたんだ…。よかつた

…んぐつ、よかつたあ…はあああ…。

うあつ、…な、なんだよお、…汚いもん、顔の前に持ってくるなよ…。

…な、舐めろつてつ、…綺麗にしろつて？ …し、舌で！？

も、もしかして、まだ満足してないのか…。

まだまだオレの身体を使つて、お前の、それに…、しなきゃならないのか…。

ううう…、わかつたよお…、舌で、舐めるから、綺麗に舐めとるから…。

ん、ちろつ…、ああ、さつき飲まされたのと同じ味い…、変わらない濃厚さで、いやらしい味だあ。

変態野郎の、んう、ああ、精液…んふう…、んちゅう…、はあ…。

んぷつ…、んんう…、んちゅう…、んふう…、んう…、んはう…。

ちゆるつ…、んうう…、んちゅう…、ちるつ…、んちゅうちゆる…。

ん…んう…、んちゅう…、んちゅううう。

…あああ、コレ、まだおつきいままだ…。二回出しても、治まんないのかよ…。
もつとしないとダメだつて？

こ、コレで…、もつと…、なんて…。オレの身体、どうなっちまうんだ…。

チャプターⅣ「限界を超えさせられる道場師範」

よ、四つん這いになれって…う、こ、こうか…？

うう、武道家がこんな恥ずかしい格好するなんて、ありえないだろ…。こんな動物みたいな体勢で何させるんだよお。

もつと足を開けつて、こんな熊勢で足を開いたら…あ、ああ…、み、見られてる…オレのあそこを…、さつき出されたところを見られてるう。

うああ、そんな尻たぶを掴んで広げるなあ！ そんなことされたらあ…うああ、精液でぐちよぐちよになってるのにい。

んあ…、あ、あ、垂れてくる、中に出されたのが出てきて垂れるつ、ん、んああ、しかも、勃起したモノを尻の間に擦りつけられてるよお。

嘘だ…これ、もしかしたらさつきよりもでかくなってるんじゃないか？
み、見えないけど…熱くて、ごつくて…ふ、太くなってる気がする…。

そうになったのは…べちやべちに汚されたおまんこが、ひくひく動くのを見て興奮したからだなんて……うあああ、もうどうでもいいから早く、早く終わらせてくれえ！

ん、んあ…、んああああん！

で、でかあ…、後ろからでかいの入れられて、んおおおお…。

んあつ、んひい…、あうん、んぐう、んおふう、んおお！

んはあん、んぐう、んああん、んひい、んふうん、んああん！

んああつ、あひい、んふう、んはあん、んんう、んおつ、んんううつ！

せ、せつかくイクの我慢してたのに！ うあつ、あふうつ、終わったと思ったのにつ、

こんなのつ、ああん、うはあん、あ、あ、んはああ！

あひいいい、パンパン腰を打ちつけられるたびに、でつかいの奥まで刺さるう！

硬くてぶつといるのが奥にゴンゴンぶつかって…、んああつ、あぐう！ 鍛えた身体を四

つん這いにされて、後ろからガツンガツン犯されてつ、硬いの撃ち込まれてえッ、

不釣り合いにおつきいおっぱい、はしたなく揺らしてるよお！

んああ、あうつ、んふう、んあああん、んう…つ、んはああん、んおお、んああつ、あひい、んんつ、んあああ！

ああん、んふうつ、んおおお、もう腰の動き早すぎるう！ んうん、うほおお、ダメだ、こんなの反則だインチキだ、うお、お、お、んぐうつ、んああん。

出し入れつ、激しつ、んおおお、あああん、お前のがあ、そ、そう、ちんぽお、お前のチンポ激しい！ あはああん！

んああ、出たり入ったりするたびじゅぽじゅぽ鳴ってるう、オレがこんないやらしい音たててるなんてえ！？ うああん、嘘だろお！

ああん、んううん、んふうん、あひいつ、んああ、こんなのお、が、我慢できないい！ あああ、ダメだダメえ！ ンおおお、ああつ、ああん、んあああ！
パンパンってつ、そんなにいっ、んああん！ た、叩き、ん、あ、んあああ、つ、つけるなあつ、んああ、うあああん、もうやめてくれえ！ んああ！ んあああん！

んっぐう、ええ？ お、お前も…いくのか？ 出すのか？

んんう、んおう！ んふう！ いけよ、さっさといつてくれよお！ んぐっ、あ、お、お、おはああ！

中に出していいから…！ 一回も二回も変わらないから…！ いつてくれないと、うああんっ、んあ、んふう！ ンおおん、んああ！ ヤバいんだよお！ もう持たないからあ！ んひいつ。

うあああ、言うよおつ、言うから早く終わらせてくれえええ！

『あなたのかつたいガツガチチンポに、降参ですう！ お、お、おう、おまんこおつ、おまんこ限界い！ 犬みたいに這いつくばって、後ろから強烈ピストンで、ズボズボ挟られてえっ、んお、おうっ、んおおおお！ こんなみっともない声上げてるのう！ おまんこの奥まで、いっぱい突かれてっ、んああああん！ もう我慢できないできませんん！ デカチンポ強すぎて、女師範のキツマン悲鳴上げさせられっぱなしっ！ 降参しっぱなし！ チンポに負けた無様な女に、んおつ、んおっほお！ んおん！ どうかトメのこつてりザーメン、くれてやってくださいいい！ お願いつ、お願いしますう！』

んはあ！ オレなんてこと言っただ！ ありえないありえない、こんなエッチありえないいいい！

あひい、んおつ、あ、あ、ダメ、我慢できない！ あと少しで終わるのに、んおおおおお！？

いくう！ イきたくないイきたくない、んぐいいいい、んっほおお！ でもイく、イかされるっ、道場破りのチンポでいくう！ 中出しされていくう！

んひいいい、んあああああああ！ いっぐうううううううううう！

んあっ…、あ…、ああ…！ 出てる…、また、出てるう……。ああ…、いっぱい出されてるう……。

んあ…、あ、ああ……、んはあ……、あはあ…、はあ…はあ、はあ…はあ、はあ…はあ、はあ…、はあ…、はあ…、はあ…、はあ…、んあ…。

は、孕みアクメえ…？ …こ、これ、孕みアクメって…いうのお…？ 精液、出されて…うあああ、オレ、孕みアクメ…しちやったああ。

はあ…、はあ…、はあ…、はあ……、はあ……んあ？ …お、お前、もしかして……、まだ、満足してないの？

そんな、お尻にお前のをこすりつけて…、ああ、熱い感じるう。まだ勃起してるのか

あ。

ああ、オレの尻をそんながつしり掴んで、ああ……ダメだ、いったせいでまるで力が入らない…、んはあ……、ああ……、んああ……、もう…、もう勝手にしろよお。

そ、そうだ、オレはもう動けないから……お前が満足してないんなら、勝手にオレの身体使つてろよお。

お前がさんざんいやらしいって言った身体を…、好き放題満足するまで使い倒せよお。

あ、ああ、入つて…、ん…、お、お、おほおおお！？

そ、そこ、違う…、入れるところ、じゃ、ない、のに…なんでオレ…、肛門にすんなりチンポ受け入れてるんだよお。

んおお、愛液と精液でスムーズう？　そ、そんなことお、んふうう…、ひ、人の尻がゆるみたいにい！　早く抜けよお！

んああ、待て待て待て、…ちゅ、中途半端に抜くな……ち、違う、チンポを全部抜けて言つて、んああ、動いてるう、ズボズボチンポが尻の穴で動いてるう、んあああ！

あ、お、んおつ、なにコレえ、お尻熱いつ、チンポ動くたび、お尻の穴に火がついたみたいにつ！　んあつ、こ、擦れてるっ！

んが、んおつほ、んおおお、んほおおん！

お、お、お尻の穴なんて、使ったことあるはずないだろ！　んおお、こ、こんな、んあ、！　んああ、！　んああああん！

お尻が、お尻があつ、ああああ、熱いよう、んおつ、んほおつ、

んあ、つ、ん、つ、んほおつ、んああつ、んぐ、んあああん！

んはあつ、んふうう！　んああ、ん！　んんぐつ、んはあつ、んぐう！

んああ、！　んんう、！　んほおつ、んぐう、つ、んがあ！

そんなつ、んっほおお！　ピストンえぐいい、おまんこじゃないトコに、そんなピストンするのおかしいい！

お、おおお、んおお、このチンポずるすぎるう！　こんなつ、オレが感じるはずないのに、尻穴で感じるはずないのにい！

んお！　んぐつ、んああああん！　け、ケツマンコつ、ケツマンコお！　ケツマンコほじられてるう！　チンポでケツマンコほじられて変になるう！

ああわけわかんないい！　荒々しいピストンされて尻穴壊れるうっ！

んおおお、！　いつていつていつてえ、これ以上されたらおかしくなるから、っ、早くいつてくれえええ！

んおお、ん、いい、いい、いい、そうう、変態ピストンしていいからあ、尻穴ガンガンピストンしてもいいから、早くいつてええええ！

んほおおおお、ケツマンコに熱いの注がれて、二回目の孕みアクメ、いつくううう、いぐいぐいぐうううううううう！

…お、おほ、ほ、…んほお、お、おほお、…んお、おおん、…んお、お。

お…、お…、おへええ…？　しや、しや…、シヤワああ…？　シヤワ―室はあ…あの、奥ううう…そうあつちいい…。

あああ、すごいきたあ、きめられたああ、あはああ…。

でも…、終わりのきたあ、いかされちやつたけど…、終わりのいい。

…んふう…、これヤバいよお…、いった余韻すづくヤバいい…。んふううう、こんなセックス初めてだあああ。

…し、試合で勝つより…、気持ちいいかもお。

お尻もおまんこもめちやくちやにされてえ…、気持ちいいなんて…、オレ、変態なお？　でも、ようやく…、終わったよおお…。

ふう…、ふう…、ふうう…、ふう…、ふうう…、…ふう…ふう。